

新産会

enjoy & smile



新世代産業研究会／発行
発行責任者 市川 聰
編集責任者 三浦 光広
平成29年7月1日発行

<http://www.shinsankai.gr.jp>

家族交流会のご案内～城崎温泉・グルメ旅～

9月24日（日）から1泊2日で、城崎温泉・グルメ旅の企画をいたしました。
詳細は同封の別紙資料をご参照ください。ご家族連れでのご参加はもとより会員だけでの参加も大歓迎です。奮ってご参加ください。



■ 予定変更のお知らせ

県産業労働部長との勉強会の日程が都合により変更になりました。

(変更前) 11月15日(水) → (変更後) 11月20日(月)

詳細は後日、ニュースにてお知らせします。

■ 今後の予定～8月1日 enjoy & smile 納涼会

ご出欠のご連絡はお早めにお願いします。

「あいち産業振興機構理事長との勉強会」のご報告

6月6日（火）午後5時より約1時間半にわたり、公益財団法人あいち産業振興機構セミナールームにおいて、（財）あいち産業振興機構理事長との勉強会として、講師に森銳一理事長を迎へ、「目からうろこ！？私の実体験から見えてきた事」のテーマで、愛知県で35年間プロジェクトにかかわってきた実体験からの、幅広い知見でのご講演をいただきました。

○講演会

【不都合な真実】 過去、ゴルフ場の設計にかかわった経験からの、よいゴルフ場の要件とはいかなるものか。また中部国際空港建設に伴う、漁業補償の問題についてのお話もいただきましたが、内容は大変深いお話となりました。

【役に立つお話】 中部国際空港に隣接して建設予定の、愛知国際展示場の計画とその背景のお話をいただきました。中部地区においては、コンベンション施設が貧弱で、国際展示場も国際会議をやる場所もなかなかありません。海外の展示場に比べて、極めて小さい規模でしかない。その対策として、アクセスの利便性から、空港島の中に、2019年秋開業を目指して、展示面積約6万m²の愛知県国際展示場の建設を予定しています。運営にはコンセッション方式を導入し、民間の創意工夫を生かす仕組みも取り入れています。展示場はすでに予約を受け付けているとのことでした。またリニアの建設にかかる、大深度地下法についての解説もしていただきました。



【面白い街の話題いくつか】 愛知の町の賑わいの変遷について、もともと名古屋城の城下町として発展し、その後、栄町が中心となって栄えていきました、江戸時代の後期から、碁盤割の区画となっており、その名残で、ほぼ現在も道路は“碁盤の目”となっています。都心として、栄町・名駅が中心となっていますが、新栄・今池あたりは全く入っていないので、もっと広域的な賑わいの形成も必要ではないか？また、歴史は繰り返すので、今後は円頓寺・円頓寺本町あたりが発展していくことも考えられるのではないか？というご意見でした。また、人口問題にも触れ、愛知県はまだ少しだけ人口が増えている状態ではあるが、2040年には685万6000人あたりまで減少することが予想されており、愛知県の強みを生かした人口問題の解決を目指すべきとの提言もいただきました。

○懇親会

勉強会の後は、場所をキャッスルプラザホテル2階「チャイナ&ダイン園」に移して懇親会が開催されました。2時間ほど、おいしい中華と酒を囲みながら、森理事長を中心に大いに盛り上りました。その後、隣のバーコンチネンタルに場所を移して、新産会の今後の在り方について、市川会長を中心に、森理事長も交えて、活発な意見交換をさせていただくこともできました。

森理事長の、愛知県“愛”を強く感じながら、貴重なお話を伺うことができ、また会員同士も有意義な時間を過ごすことができました。大変ありがとうございました。紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

（40期 野村昭郎）

